



TOYOHASHI 若者による造形作品の競技と、その発表の大会

Youth Modeling Contest 2022

ユース モデリング コンテスト 豊橋2022 開催のお知らせ

高校生・高等専門学校生による「ものづくり」の作品発表大会を、愛知県豊橋市で立ち上げます。立体造形作品による「シーン」の表現力と技術、その作品に込めた思い、仲間たちとのチームワーク、想像力と創造性を、作品展示とプレゼンテーションによって競い合う全国大会を開催します。

■名 称：TOYOHASHI 若者による造形作品の競技と、その発表の大会

Youth Modeling Contest 2022

ユース モデリング コンテスト 豊橋2022（略称：ユーモ豊橋2022）

■テーマ：50立方センチメートルのインスタレーション

■会 期：2022年1月29日（土）・30日（日） 2日間 ※展示準備日：1月28日（金）

■会 場：豊橋市こども未来館ここにこ（愛知県豊橋市松葉町三丁目1番地）→施設案内

■主 催：ユースモデリングコンテスト豊橋 実行委員会

■後 援：豊橋市、豊橋市教育委員会、やしの実FM、（一社）豊橋観光コンベンション協会、東海日日新聞社、東愛知新聞社、豊橋ケーブルネットワーク株式会社［ティーズ］
（申請中：メディア各社）

■協 賛：エコーテック株式会社、ファインモールド、アルゴファイルジャパン(株)、UHOLABO
ジーンズヤマト向山店、宇宙パラシュート教室@豊橋、伊藤保険(株)
ほか地元企業、模型関係各社、美術芸術技術関係各所（想定）

■概 要：①高校・高専の部活や学内の有志チームによる立体造形作品を競う大会。

②50cm立方で「シーン」を表現。

プラモデル、ペーパークラフト、木工工作、機械、彫刻などの各種模型や、絵画、写真、書など自由な方法で創作した作品を全国の高校・高専から募集。

※「書」「絵画」「写真」は、それ自体を立体化したり、展示方法を立体的に工夫すれば出展可能とする。

③作品概要、イメージ画像、企画書などで書類選考。合格作品を会場で展示公開。

④出展チームによる作品プレゼンテーション大会実施。（※状況によりオンライン開催）

⑤来場者とオンラインでの投票、発表会の成績、審査員評価を合わせた総合点で順位を決め、上位作品を表彰。

⑥三年継続開催を目指す。（それ以降は10回開催を目標とする。）

継続する事で若者たちの「ものづくり」「造形」の文化や伝統、経験、技術、他校との交流を後輩たちに伝承してもらうことを期待したい。

⑦愛知県豊橋市が全国の高校・高専の「ものづくり」スピリッツの聖地としたい。

⑧中学生以下の生徒たちに「ものづくり」と、それに打ち込む高校・高専の生徒たちに憧れや希望をもって後続してもらいたい。

⑨地元高校の協力を仰ぎ、例えば放送部による学校紹介、豊橋紹介を館内放送したり音楽ライブや伝統芸能などの発表なども取り入れ「新たな文化祭」を構築する。

⑩「ものづくり」関係企業のPR出展ブースやデモンストレーションを取り入れる。

⑪模型店で無料配布の「エコーテック通信」で漫画連載中「架空の高校、豊橋工専高校 模型部【もけ部】」を大会イメージキャラクターに、その校歌「夢の道標」を大会公式ソングとして各種プロモーションを展開する。

■会場での作品展示について

- 「作品展示も作品の一部」として、出場チームが展示方法を考え表すものとする。
※来場できないチームは、その理由と共に展示方法の説明書を実行委員会に提出し、承認されれば実行委員会による展示を以って出展を認める。
- 展示台は 1 作品につき会議用長机2本分（180cm・45cm×2=90cmのスペースとする。
- 作品は360度どこからでも鑑賞できるように展示する。
- 背面、背景があってもよい。
ただし、その背面も作品の一部であることを意識して製作すること。
- キャプションなどを立てて展示する場合は A3サイズを縦使いか、最大縦横50cm以内のパネル類を1点まで許可する。
- 作品のキャプション（タイトル、チームメンバー名、作品説明など）は大会統一仕様を設定。
それによって出場チームが自由に演出して製作したものを使用する。（※検討中）
- 来場できるチームは作品の横に立って来場者に説明することを認める。

●展示イメージ（配置はこの限りではない。）

展示スペース

長机（180cm×45cm×H70cm）×2 本

作品

（50 立方 cm の見えない箱に入るサイズ）

※展示ケースは用意なし

自立キャプション

使用の場合

（最高 50cm まで）

キャプション

- ・ 作品キャプションは統一仕様
- ・ それ以外は自由

製作記録や写真アルバム、
ファイルなどは
展示台上に設置可

大会ロゴ（案）

TOYOHASHI 若者による造形作品の競技と、その発表の大会

Youth Modeling Contest 2022

TOYOHASHI 若者による造形作品の競技と、その発表の大会

Youth Modeling Contest 2022



大会公式キャラクター

豊橋高専高校模型部【もけ部】 → 「もけ部」って？（エコーテック通信 on Web 内コンテンツ）



もけ部メンバー（画像左より）

- ・ハコ（プラモ歴10年。特にクルマとミリタリー）
- ・いぶき（電子系、デジタル系につよい）
- ・つむぎ（かわいいもの大好き、フィギュアも作っちゃう）
- ・まとい（自動車整備工の娘で塗装は職人級）
- ・せり（造形、改造、塗装、すべてをこなすオールラウンダー）

※もけ部キャラクターデザイン：鈴木典孝

代表作品

- 『超電動ロボ 鉄人28号FX』キャラクター原案
- 『アカメが斬る!』プロップ設定
- 『うたわれるもの』プロップデザイン
- 『デジモンアドベンチャーtri』プロップデザイン
- 『Re:ゼロから始める異世界生活』プロップデザイン

■備考

大会に関するお問い合わせ、連絡先

・大会運営事務局：〒464-0843 名古屋市千種区丸山町2-44 リリーハイツ丸山201
ピーステップ内・担当：足立 剛（052-753-6556 /080-3644-5200）

大会公式メールアドレス：youmo.zoukei@gmail.com

大会公式ウェブサイト

<https://youmozoukei.wixsite.com/youmo>

TOYOHASHI 若者による造形作品の競技と、その発表の大会
Youth Modeling Contest 2022

2022
1/29 sat
1/30 sun

こども未来館 
Development Center for Children's Futures
愛知県豊橋市松葉町三丁目1番地



大会公式キャラクター
豊橋高専高校模型部【もけ部】



大会パートナー
エコーテック株式会社

高校生・高等専門学校生による「ものづくり」の作品発表大会を、愛知県豊橋市で立ち上げます。
立体造形作品による「シーン」の表現力と技術、その作品に込めた思い、仲間たちとのチームワーク、
想像力と創造性を、作品展示とプレゼンテーションによって競い合う全国大会を開催します。

大会公式SNS（ツイッター）

https://twitter.com/YouMo_Zoukei

大会開催、作品募集は全国の高校・高専へ発信します（予定）。

メイン協賛社：エコーテック株式会社 → [エコーテック通信 on Web](#)

愛知県豊橋市大岩町小山塚20番地（本多電子株式会社内）
0532-65-5158

本多電子の超音波応用機器を企画・販売。

大会イメージキャラクター「架空の高校、豊橋工専高校模型部【もけ部】」が仲間達と「モノづくり」に挑み楽しみ志す漫画を、同社のフリー冊子「エコーテック通信」に連載中。豊橋市の行政とのコラボレーションも多彩に展開。若者の「モノづくり」と「地元の盛り上げ」を応援している。